

祖生地区農村RMO

R8

10月

No.17

集落支援だより



実りの秋

黄金色に輝く稲穂が田んぼ一面に広がり、いよいよ収穫の時期を迎えています。

RMOの活動においても、大きな課題となっている農用地の保全ですが、「農業の楽しさや収穫の喜びを伝えたい」「祖生の美しい田園風景を残していきたい」との声も多く聞かれます。地域の皆さんの思いを大切にしながら、RMOの活動を進めていきたいと思っています。

この景観をこれからも守り、次の世代につないでいきたいですね。

RMO会議

農村RMOでは、【①農用地の保全②地域資源活用③生活支援】の三つの活動を柱として、できることから少しずつ取り組んでいきます。

9月10日にはRMOの全体会議を開催しました。今年度の進め方や、活動内容についての協議を行い、組織の設立に向けて着々と準備を進めています。

会議の中では、安心して暮らせる地域を目指して、活発な意見交換が行われています。

高齢化が急速に進んでいる中で、RMOがどのような役割を担っていくのか。地域の皆さんが何に困っていて、どのような支援が必要なのかなど、課題はたくさんあります。

このように、地域の現状を知ることも大切な一歩となっています。



スマート農業についてのご紹介

RMOでもスマート農業について、協議されているところです。
スマート農業とは、ロボット、AI、IoTなどの先端技術を活用する農業のことです。

機械やAIを導入することで、農作業に関する情報をデータ化し、作業を省力化することができます。

例としては、ドローンによる農薬散布、農地の水位センサー、樋門の自動開閉装置、獣害対策用の監視カメラなどさまざまな技術があります。

今後、このような技術を活用することで、農作業の負担軽減や効率化につながることが期待されます。



環境センサー



自動給水栓



ソーラー式電動ゲート